

第94回卒業式を挙

日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼人 中原 泉
編集人 偶数月末日
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市浜浦町1-8
☎025(267)1500



東京短大の校章

両学部172名が巣立つ 卒業証書No.一八七二〇号に

日本歯科大学第九十四回卒業式(学位記授与式)は、三月下旬、両学部において挙行し、一七二名の学士(歯学)を送り出した。あわせて日本歯科大学大学院第四十二回修了式(学位記授与式)が催され、十五名の博士(歯学)が誕生した。また新潟短期大学と附属歯科専門学校(歯学)が誕生した。また新潟短期大学と附属歯科専門学校の卒業式が挙行され、歯科衛生士の両科は三年制として初めての卒業生を出した。

第42回大学院修了式を併催

歯学部の部は、三月二十三日に歯学部富士見ホールにおいて、大学院第四十二回修了式(学位記授与式)を併催して挙行された。



壇上は告辞を述べる中原学長(3月23日・歯学部)

成十六年度卒業生九十四名の氏名が呼びあげられ、吉野真弘君が代表して、中原学長より栄えある卒業の証として学位記を授与された。

祝電披露のあと全員で校歌を斉唱し、午前十一時に閉式した。

藤田源太郎君が代表して、中原学長より栄えある卒業の証として学位記を授与された。

新潟短期大学の卒業式は、三月二十四日に新潟歯学部講堂において挙行された。

附属歯科専門学校の卒業式は、三月二十二日歯学部講堂において挙行された。

東京の四号館を解体本館前のビルも

本学歯学部の再整備工事は、予定どおり進捗している。



「医学・歯科医学の分野では、より質の高い医師・歯科医師が社会から求められている。

新潟短期大学の卒業式は、三月二十四日に新潟歯学部講堂において挙行された。

附属歯科専門学校の卒業式は、三月二十二日歯学部講堂において挙行された。

東京の四号館を解体本館前のビルも

両短期大学の校章を制定

本学は、東京短期大学の四月一日開学に際し、校章を制定した。

「医学・歯科医学の分野では、より質の高い医師・歯科医師が社会から求められている。

新潟短期大学の卒業式は、三月二十四日に新潟歯学部講堂において挙行された。

附属歯科専門学校の卒業式は、三月二十二日歯学部講堂において挙行された。

東京の四号館を解体本館前のビルも

社会のニーズに 歯科医療



平成17年度日本歯科大学歯学会大会
日 時 平成17年6月4日(土)
9:50~17:00
会 場 日本歯科大学
新潟歯学部 講堂
大会長 関本 恒夫

お問い合わせ先: 準備委員長: 黒川裕臣 (新潟歯学部総合診療科2
025-267-1500 E-mail: hkuro@ngt.ndu.ac.jp)

社会のニーズに応える歯科医師の養成
一 歯科医師臨床研修制度 -
● 歯科医師臨床研修制度の必修化に向けて
平田 創一郎 (厚生労働省)
● 歯科医師臨床研修必修化における当県の
対応と歯科診療所における臨床研修
松崎 正樹 (新潟県歯科医師会)
● 管理型研修施設と協力型研修施設の連携
住友 雅人 (歯学部)

17年度 入学式を挙

晴れの新生たち……

東京短期大学、初の入学式

平成十七年度の日本歯科大学入学式は四月初旬、歯学部と新潟歯学部で挙行された。四月一日開学の東京短期大学の最初の入学式が挙行され、あわせて大学院、新潟短期大学、附属校専攻科の入学式も行われた。

歯学部

歯学部の部は四月十一日に歯学部富士見ホールにおいて挙行された。定刻午前十時、米澤登庶務部長の司会により開式が宣せられ、まず歯学部新生二二八名、編入学生一名、大学院歯学研究科入学生十三名の点呼が行われた。

中原泉学長は訓示に立ち、「本学は創立以来、通し番号で卒業回数を数えているので、諸君は六年のうちに、日本歯科大学第一〇〇回卒業生として卒業していく。わが国では近年、大学の学力が低下していると言われている。ある教授の調査によれば、講義時にノートをとる学生たちと、全くノートをとらない学生たちとは、試験点数で二十点近い有意差があった。

時代錯誤と揶揄されても、ノートをとるといふシンプルな作業は、学習の基本であり鉄則である。私は信じている。学習という行為は、いつの時代も不変である。私の学習法のすすめを実行する



新入生に訓示する中原学長(4月7日・新潟歯学部)

か否かは、新入生諸君の判断であり、その結果は諸君の自己責任であることを十分に認識願いたい」と述べた。

ついで歯学部入学生を代表してト部智美さん、大学院歯学研究科入学生を代表して石関愛さんがおのの宣誓した。

新潟歯学部

新潟歯学部の部は、四月七日に新潟歯学部講堂において挙行された。

定刻午前十一時、大場憲栄事務部長の司会により開式が宣せられ、まず新入生九十六名、編入学生四名、大学院新潟歯学研究科入学生四名の点呼が行われた。

中原学長は訓示に立ち、「本学を卒業することはプロセスの一つであり、めざす到達目標は歯科医師の資格を取得することである。学習という行為は、いつの時代も不変」と述べた。



入学の宣誓をする新入生代表(4月11日・歯学部)

新潟短期大学

日本歯科大学新潟短期大学の入学式は、四月七日に新潟歯学部講堂において挙行された。定刻午後一時、入江三夫事務部長の司会により開式が宣せられ、入学生六十二名と専攻科入学生二名の点呼が行われた。

内田稔学長は訓示に立ち、「これからの三年間、恵まれた環境で歯科衛生士になるために、歯科予防処置、口腔保健指導、診療補助と介護等について学ぶこととなる。専攻科の諸君は高度の専門知識を修めて、指導者となるよう、大きな目標に向かって学習していただきたい」と述べた。

東京短期大学

日本歯科大学東京短期大学と、日本歯科大学附属歯科専門学校歯科技工士専攻科の入学式は、四月十一日に歯学部富士見ホールにおいて挙行された。

定刻午後一時、印出光宏書記補(東京短期大学事務室)の司会により開式が宣せられ、まず東京短期大学歯科技工士専攻科新入生六十一名、歯科衛生士専攻科新入生五十七名、附属歯科専門学校歯科技工士専攻科入学生十二名の点呼が行われた。

古屋英毅学長は訓示に立ち、「本日は多数の来賓をお迎えして、最初の入学式を挙行できたことを嬉しく思っている。東京短期大学では、専門性の高い実践的な教育に加えて、医療技術者としての豊かな人間性と深い教養、さらに倫理性を獲得するために必要なカリキュラムを用意している。諸君は栄えある短大最初の入学生なので、人間性豊かな医療人となるように努力していただきたい」と述べた。

つづいて西田紘一附属歯科専門学校校長は、「歯科技工士専攻科は、これまでの教育課程に加え、応用する臨床技術をさらに研鑽する場であると訓示した。

ついで吉田隆一歯学部長と住友雅人歯学部附属病院長から祝辞があり、新入生を代表して大下裕子さんが宣誓した。

おわりに列席の法人役員と教職員の紹介があり、午後一時半に閉式した。

平成十七年度日本歯科大学大学院歯学研究科入学生(十三名)と新潟歯学研究科入学生(四名)

東京短大開学を祝う
日本歯科大学東京短期大学開学記念パーティ
が、開学日の四月一日午後六時より、東京九段のホテルグランドパレスにおいて、中原泉理事長、

は次の通り。
(歯学研究科)
(歯科基礎系)
岡村光太郎
野口顕造
上杉容子
藤田和也
南有希子
戸來真由美
(歯科臨床系)
小澤稔史
富永徳子
奈須純一
石関 愛
土持 航
大内謙太郎
武内寛子
(新潟歯学研究科)
高橋 睦
山田 希
木村勝年
豊島紘一郎

は次の通り。
(歯学研究科)
(歯科基礎系)
岡村光太郎
野口顕造
上杉容子
藤田和也
南有希子
戸來真由美
(歯科臨床系)
小澤稔史
富永徳子
奈須純一
石関 愛
土持 航
大内謙太郎
武内寛子
(新潟歯学研究科)
高橋 睦
山田 希
木村勝年
豊島紘一郎

(1)志賀 博 内川喜盛
(2)村田 浩 長田敬五
(3)末高武彦 山下陽介
(4)下村浩巳 仲居 明
(5)土持 眞 森 和久
(6)土川幸三 富井信之
(新潟短期大学)
(1)浅沼直樹 片野志保
(2)伊藤鉄栄 土田智子
(3)吉原正義 佐藤治美
(東京短期大学)
(1)上野隆治 尾崎順男
(2)隅田百登子 市川順子
(3)柴田 潔 野村正子
福田洋子
齊藤順子

(1)齊藤洋一 合場千佳子
(2)後藤尚昭 市川 基
(3)佐藤文裕 岩田健悟
(4)山口佳男 齊藤勝紀
(5)須田真理 須田真理
(6)野村正子 野村正子
福田洋子
齊藤順子

十七年度ポスグラコース

単独講座(科)

Aコース
Ⅱデモ・実習あり
(担当) 歯学部小児歯科学講座(内川喜盛助教授)
(テーマ) かかりつけ歯科医のスキルアップをはかる10歳児からはじめられるオーラルケアマネージメント
(開催日) 9月25日(日)
(会場) 歯学部
(受講料) ①歯科医師・歯科衛生士へ2万8千円、②歯科医師のみ2万3千円(①、②とも教材費3千円を含む)
(募集) 20名

Cコース

(歯学部一日半)
Ⅱデモ・実習あり
(担当) 歯学部インプラント診療センター(高森等センター長・解剖学第一講座(佐藤長教授)・歯科放射線学講座(代居敬教授)
(テーマ) 歯科インプラント手術に必要な基礎的知識一局所解剖・画像について
(開催日) 7月23日(土)~24日(日)
(会場) 歯学部
(受講料) 4万円(教材費1万円を含む)
(募集) 30名

Bコース

(新潟歯学部一日)
Ⅱデモ・実習あり
(担当) 新潟歯学部附属病院歯科麻酔全身管理科(佐野公人科長・附属病院口腔外科(山口晃科長)
☆申込み等の詳細については、「校友会・歯学会会報」第30巻4号を「覧下さい。日本歯科大学校友会

平成十七年度日本歯科大学大学院歯学研究科入学生(十三名)と新潟歯学研究科入学生(四名)